

学校関係者評価

令和4年度 北部小学校 学校関係者評価

○学校関係者評価
 ・評価者名 学校評議員
 ・評価日および評価方法 第2回令和5年2月28日(火)授業参観(全学年)、学校経営説明会

※評価の基準 A=充分達成90%以上(3点) B=概ね達成70~90%(2点)
 C=次年度以降に期待70%未満(1点)

評価項目	重点目標と基本方針	評価	所見
確かな学力の育成 (学習指導)	○分かる授業の展開	B	
	1 学力向上を目指した創意工夫に基づいた多様で質の高い指導を充実させる。		小グループで活発な意見の交換が行われていて、自主的な姿勢が見られた
	2 知識・技能の定着と思考力や判断力、表現力を育成する。		のがよかったと思う。
	3 自ら学び、考え、表現するなどの学びに向かう力を育成する。		それぞれ創意工夫をした授業が行われていた。
	4 教職員一人一人のカリキュラム・マネジメント力の育成・向上を図る。		
	5 個別指導や少人数指導の充実を図る。		
豊かな心の育成 (生活指導)	○一人一人を生かす教育の推進	A	
	1 特別支援教育(インクルーシブ教育支援システム)の構築と推進を充実する。		あさか活動において、学年の違いを超えて1つの遊びをすることを通して、上級生が
	2 子ども1人1人の良さ、可能性の発見・伸長を図る個に応じた指導の充実を図る。		下級生に気を配りまとめようとしているのが印象的だった。
	3 挨拶や集団のルール等の社会的規範を身につけるための指導や体験を充実・推進する。		
4 リーダーシップ等の主体性や表現力とともに、人としての思いやりや優しさを培う。(あさか活動の充実)			
特色ある教育 (地域連携)	○学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進	B	
	1 地域の中での体験活動から成功や失敗を学び、達成感やチャレンジ精神を育む。		保護者の方にもう少しボランティアに興味を持って参加してもらえるようになるとよい
	2 地域の教育力を活用した教育活動の推進と地域の人材・自然等の貴重な教育資源を活用する。(学習支援ボランティアの充実を図る)		と思う。 今後コロナ禍が収まってきて、地域学校共同本部(ボランティア)を来年度以降充実させていきたい。
3 学校支援地域本部事業(学習支援、環境整備)の整備と充実を図る。			
安心・安全 体力向上 (心身の健康) (教育環境の整備)	○安心・安全できれいな学校づくり	B	
	1 登下校の安全の確保(子どもの生命・安全を第一に考えた安全教育)の推進をする。		隣接地域の登校ボランティアはもともと地域住民の協力を得て体制を整えているので、
	2 学習環境(校舎内外)の整備を推進する。		北部地区ももう少し地域の協力を仰ぎたいです。
	3 老朽化した校舎・教具等の計画的な改善や充実を図る。		
4 不審者対応や地震などの災害に対応できる指導を行う。			

○その他

なかなか体を動かすことが少なくなってきているので、クラブ(部活動)の復活を願っている。月会費を払ってもよいと思う。